



熊本県小売業 SAFE 協議会を開催しました。

熊本労働局では、新たに1事業場を加えた6事業場及び5団体で構成する、熊本県小売業 SAFE 協議会の令和6年度第2回目を開催しました。

実施日	令和7年1月27日（月）
場所	熊本地方合同庁舎 A 棟 10 階大会議室（熊本市西区春日2丁目10-1）
内容	熊本産業保健総合支援センターから講師をお招きし、転倒災害防止対策の中でも内発的要因の対策についてご講演をいただいた後、協議会の構成員である(株)ロッキーマーから転倒防止対策（ソフト面の対策）の取組を発表してもらうことにより、転倒防止のためのソフト面の対策について共有しました。

本協議会は、冒頭に、熊本労働局労働基準部長から、「小売業における転倒防止対策は、ハード面の対策は概ね進んできているが、加齢等のリスク対策である教育や運動等のソフト面の対策が遅れていると感じている。本日の講演から転倒防止対策のヒントとなる話をいただけたと思いますので参考にしてほしい。」とのメッセージが伝えられました。



労働基準部長の挨拶



(株)鮮ど市場の紹介

その後、今回から新たに構成員となった(株)鮮ど市場様の紹介が行われ、出席された西嶋様よりご挨拶をいただきました。

続いて、熊本労働局健康安全課の担当者から労働災害発生状況、第14次労働災害防止推進計画のアウトプット指標の達成状況について説明を行いました。

その後、熊本産業保健総合支援センターの産業保健相談員をされている山下亮様より転倒防止のための内発的要因の対策について、ご講演をいただきました。

講演では転倒リスクの講義と転倒予防のためのエクササイズの方法について体験形式で教えていただきました。

まず、講義では、筋肉量は中年以降で毎年



産業保健相談員 山下様の講演の様子



太ももの裏のばし

1%ずつ減少し、50代ともなると筋力・平衡機能が落ちやすくなる。そのため、転倒の内的要因が増加する40歳前後から気を付け、動きやすい身体づくりを意識してエクササイズに取り組むことが大事であることについてお話をいただきました。

その後、上半身や下半身の動きやすさのチェックを行い、数種類のエクササイズを出席者全員で取り組みました。(写真は一部です)



からだ捻り



スクワット

その後、(株)ロッキーの永野部長様より転倒防止対策について発表していただきました。

(株)ロッキーでは、これまで全店で照明のLED化、おそうじロボットの導入、滑りにくい安全靴の導入等ハード面の対策を中心に行ってきたが、今回の講演のようにソフト面の対策も重要と感じ、現在、店長や工場長に対し、転倒防止のための体操について役立つ情報を提供しているとのことでした。



(株)ロッキー永野部長様の発表



健康安全課長のまとめ

しかし、従業員の中には、体操をするのが恥ずかしいといった声もあり、いかに取り組みやすい環境を作っていくかという悩みもあるとのこと、貴重なお話いただきました。

その後、出席者全員で今後の取組について協議を行い、最後に健康安全課長からのまとめをして閉会しました。

熊本労働局では、今後も小売業の労働災害防止のための施策を推進してまいります。